

## 巻 頭 言

今冬は暖冬予報にもかかわらず、新潟市は記録的な大雪となり、公共交通機関が遮断されるなど市民生活に大きな影響を及ぼしました。

身近な季節現象の変化から地球規模の環境変化や、二酸化炭素の排出抑制などを改めて考えられた市民の方も多かったのではないのでしょうか。

本年報は、新津丘陵をはじめ県内各地域の植物の実態を調査し、その結果をまとめていただいています。今年度は、矢代田地区の調査においても新潟県絶滅危惧種の希少な植物の確認もされました。これらのデータは、里山の保全や利活用を進める上での資料として活用させていただくことを目的としていますが、長年にわたる調査の積み重ねは、新津丘陵の環境変化や、さらにはグローバルな環境保全の基礎データとしての意味をも帯びてくるのではないかと思います。

石沢進氏の不断のご努力に改めて感謝申し上げます。また、今年も資料調査や資料の提供、また貴重な図書等の寄贈など多くの皆さまからご協力をいただきました。改めて感謝申し上げますと共に、研究成果を多くの皆さまからご活用いただくことと、調査活動が今後も順調に進むことを祈念いたします。

2010年3月

新潟市秋葉区長

藤 田 清 明